

地方創生推進交付金 効果検証シート(平成30年度分)
【交付金実績額:8,575,279円(総事業費:17,150,558円)】

【内部評価】		担当課名:地域戦略課				
交付金対象事業名		のへいベイフロント計画推進事業～復元北前型弁才船「みちのく丸」を核とした地域振興				
事業概要		「北前船寄港地フォーラム」をきっかけとしたうえで、「北前文化で栄えた町」、「東北有数の商港」、「商業の町」といった部分をキーワードとし、ベイフロントエリアでは「北前船文化」で栄えていた「江戸時代の文化」をコンセプトとした事業を展開し、町の中心地ではフェリーの就航で町が栄えていた「昭和時代の文化」をコンセプトとした事業を展開し、相互のエリアから町の活性化を図る。将来的には、平成28年度に利活用の調査・検討を行った(平成28年度 地方創生推進交付金活用事業)ベイフロントエリア内において、「みちのく丸」や「北前船文化」を直に感じることができる体験型の交流拠点施設の整備を行う。当該設備の整備や「みちのく丸」の修復・保存については、寄附金、ふるさと納税(企業版ふるさと納税含む)、クラウドファンディングの実施を広く呼びかけ、全国各地から資金を集める。 ①のへい常夜燈朝市活性化協議会自立促進事業、②北前船寄港地フォーラム開催及び北前船寄港地情報発信事業、③野辺地町PR事業(主にみちのく丸に関するPR事業)、④地域資源利活用推進事業、⑤観光入込客数増加推進事業の5種類の事業を行う。				
重要業績評価指標(KPI)	指標		事業開始前(平成28年度)	H29年度増加分	H30年度増加分	H31年度増加分
	観光等入込客数(人)	予定値	133,226	17,000	10,000	10,000
		実績値	136,673	54,926	18,475	
	クラウドファンディングを活用した取り組みの実施件数(件)	予定値	0	0	1	1
		実績値	0	0	0	
	ベイフロントエリア内での販売額(売上額)(円)	予定値	17,200,000	1,000,000	1,000,000	500,000
		実績値	19,163,770	14,624,934	1,663,794	
本事業の地方創生への効果	事業効果		事業効果の理由			
	地方創生に効果があった		「みちのく丸」を陸揚げした初年度であり、本交付金を活用しPRや船内見学会を開催することができたことで、県内外に広く野辺地町の情報を発信できたため。			
H30年度の事業を進める中での課題・苦労と、(課題・苦労があった場合)特に苦労したこと	課題・苦労の有無		(課題・苦労があった場合)特に苦労したこと ※最大3つまで選択			
	課題・苦労があった	事業推進体制の検討				
		事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成				
		庁外・組織外との調整・合意形成				
H30年度内において、修正・改善等により取組みを前進させた点	KPI指標の一つである、ベイフロントエリア内での販売額(売上額)の増額に向けた取り組みへの提案					
事業の今後の方針	今後の方針		今後の方針の理由			
	事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った))		一部の事業の改善が必要と考える。個々の事業の目的や成果を再検証し方向性をもって事業に取り組むことが望まれる。			

【外部評価】		※有識者会議委員
評価	総合戦略のKPI達成に有効であった…7人／総合戦略のKPI達成に有効であったとは言えない…3人／その他…3人	
コメント等	●クラウドファンディングが未実施、取り組みはゼロという点について、対策が必要。 ●みちのく丸の活用については、事業を推進するにあたって、専門家を招聘する等検討した方がよいと思う。 ●広く町民の事業に対する理解を深める必要あり。 ●今後、町が観光を売り出すためには不可欠なものであり、町の特徴を活かした「ベイフロントエリア」、目玉となる「みちのく丸」をこれからも大いに活用して認知度を高めていく必要があると思われます。そのための「寄港地フォーラム」は、認知度を高めるためには良かったと認識している。 ●利益率等、費用対効果を検討する必要がある。	

【外部評価】		※議会
評価	総合戦略のKPI達成に有効であった…11人／総合戦略のKPI達成に有効であったとは言えない…0人／その他…1人	
コメント等	●クラウドファンディングを活用した取り組みの実施件数が達成されなかったため、全体として有効か有効でないかを判断することはできない。	